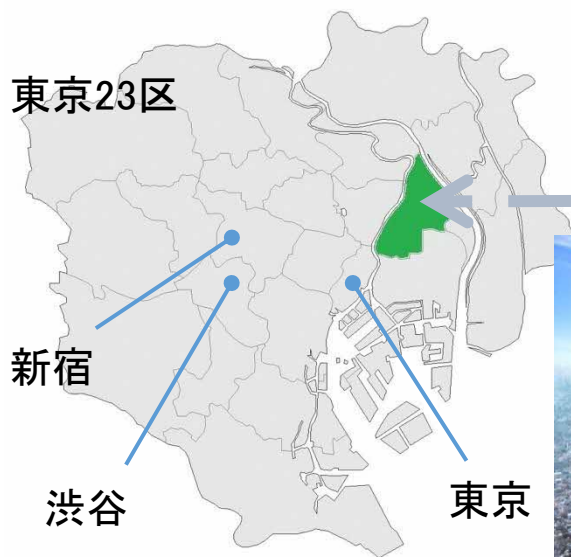


墨田区について

- 位置: 東京東部、隅田川の東
- 誕生: 昭和22(1947)年 向島区と本所区が統合
- 面積: 13.77km²(17番目/23区)
- 人口: 約28万人(16番目/23区)



東京スカイツリー



平成28年経済センサス

ものづくりの歴史・背景: 近代軽工業発祥の地

江戸時代	1657年 明暦の大火 ⇒ 1659年 両国橋架橋 北部: 農村、職人の住む地域 / 瓦、ロウソク、鋳物、刷毛 南部: 武家屋敷 / 編み物、足袋
明治初期	政商・西村勝三氏が授産事業として、靴・メリヤスの製造拠点 軍需産業 : 靴・靴・ベルト・帽子・肌着・時計
大正時代	洋装化に伴い、 軍需品から日用品 へ転換
昭和時代	戦後復興、朝鮮戦争特需、高度成長期の到来 大量生産・大量消費 1970年 区内工場数が 9,703社 とピークに



花王工場(昭和10年頃)

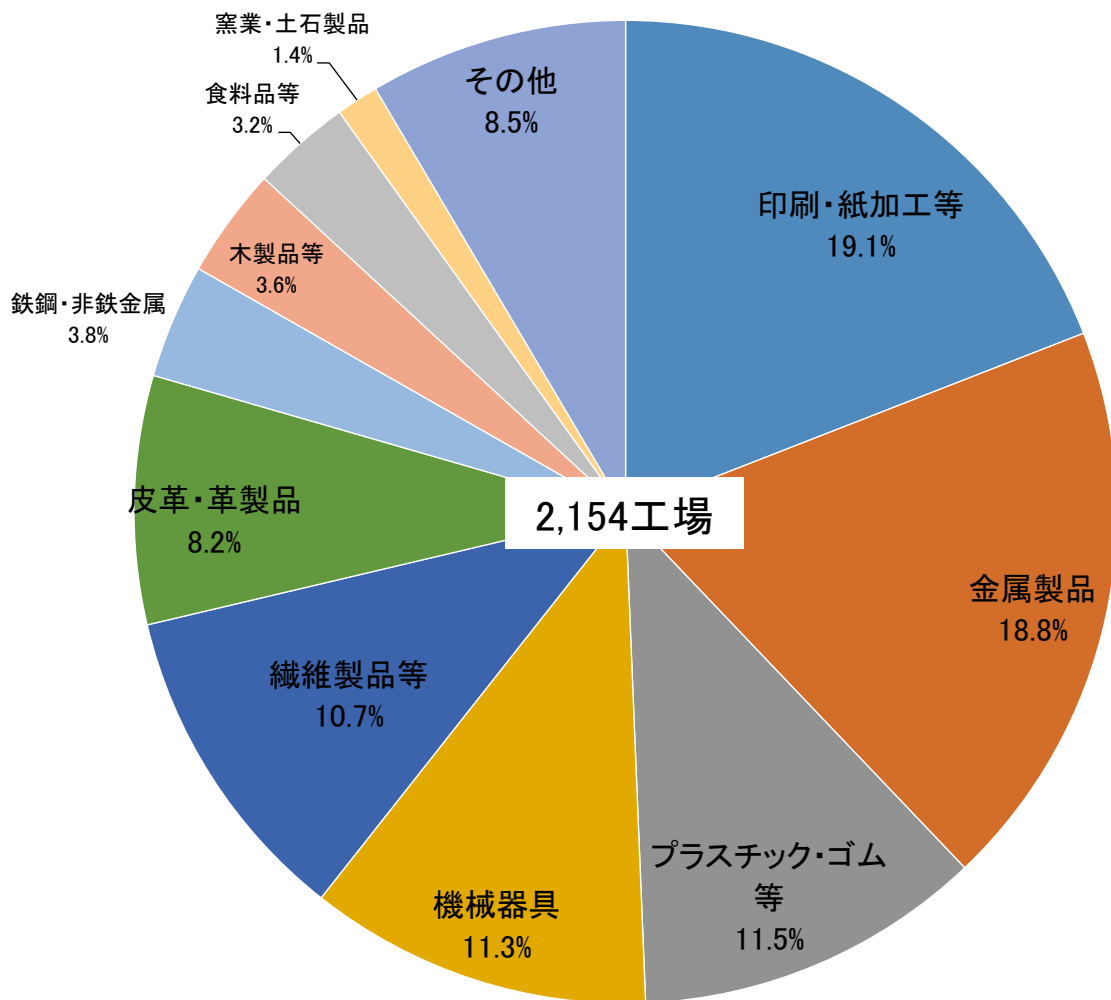


ライオン煉歯磨



アサヒビール

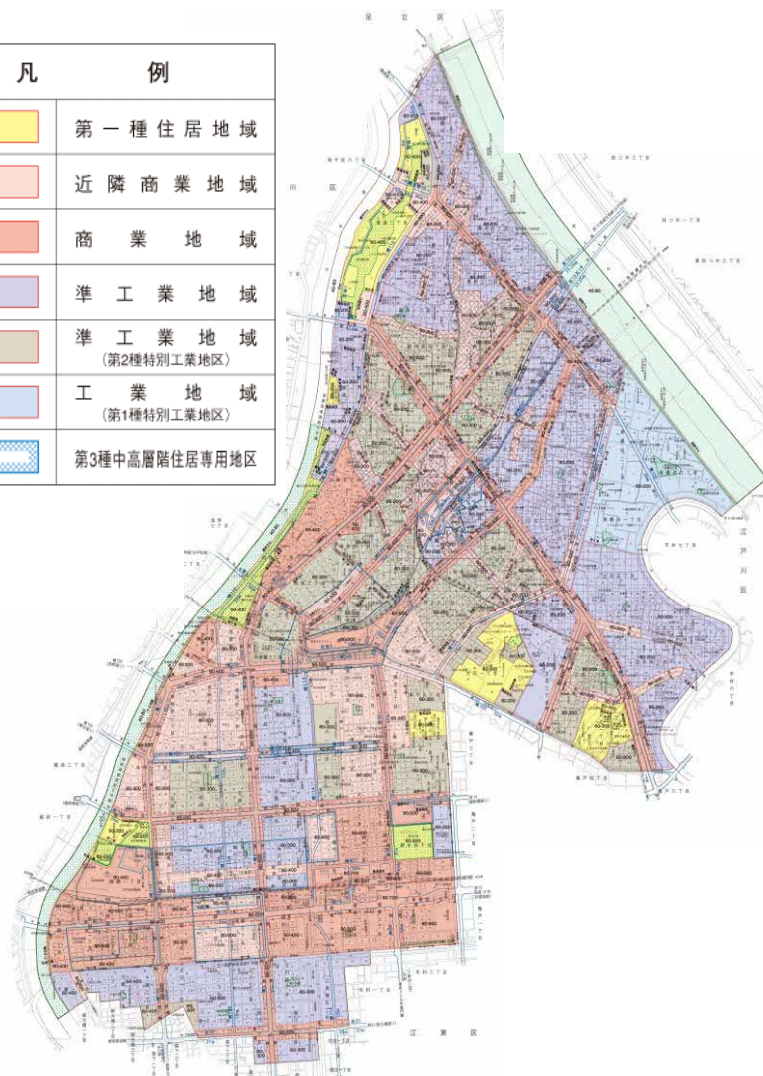
墨田区産業の現状・課題①



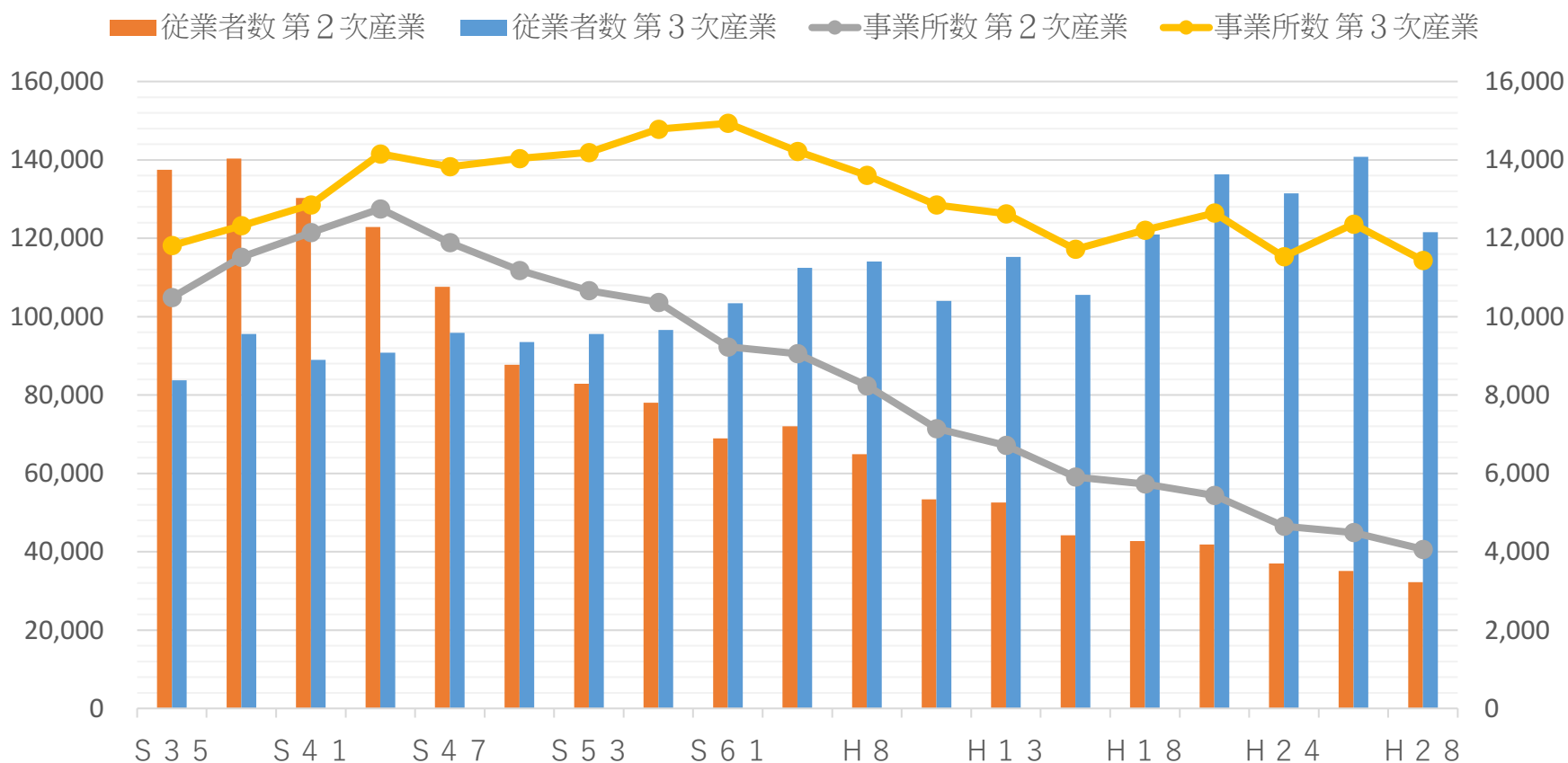
- 東京都内で**第2位**
- **多種多様な業種が**
集積

墨田区産業の現状・課題②

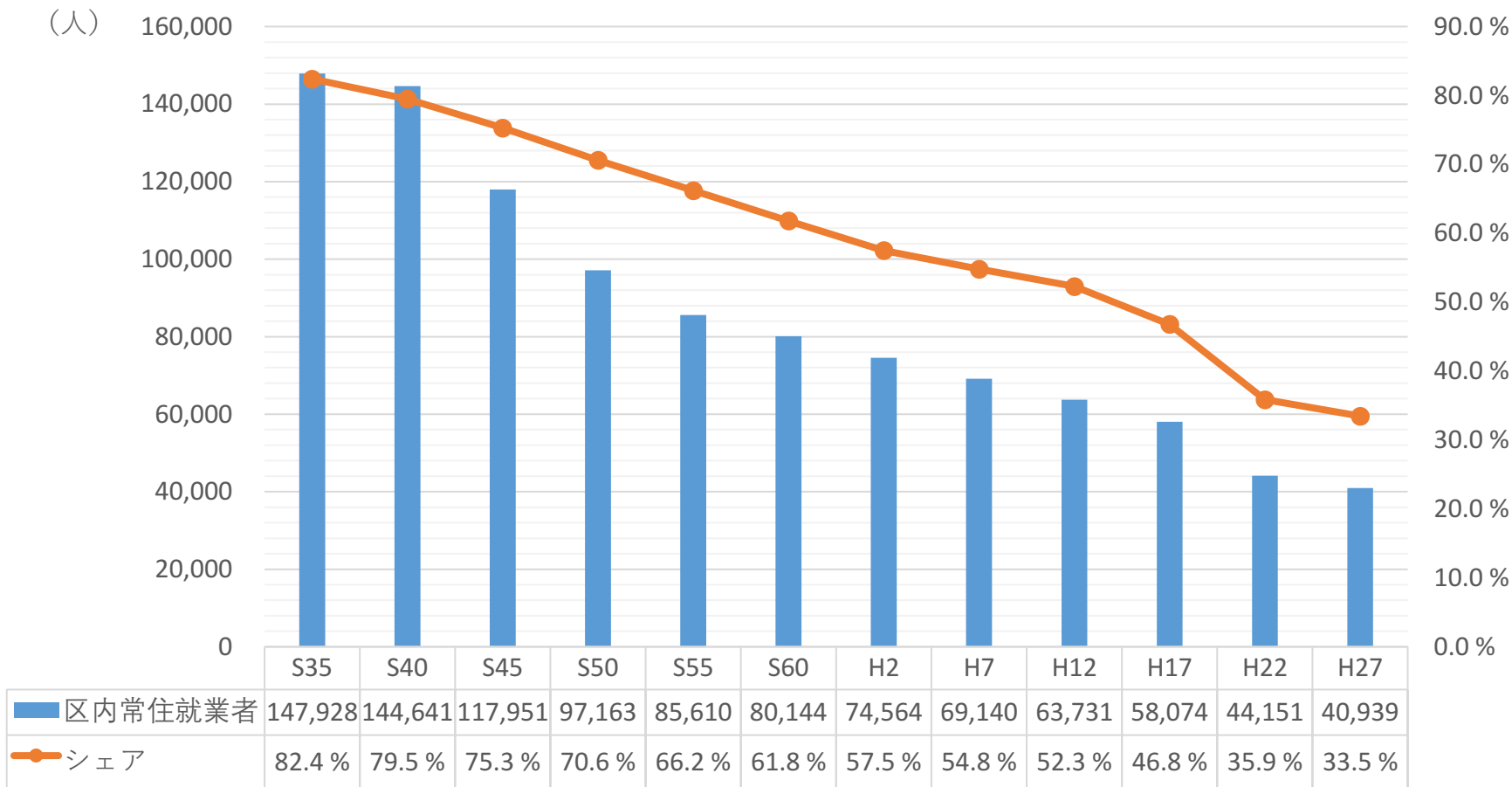
凡 例	
	第一種住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	準工業地域 (第2種特別工業地区)
	工業地域 (第1種特別工業地区)
	第3種中高層階住居専用地区



墨田区産業の現状・課題③



墨田区産業の現状・課題④



墨田区における産業振興施策

中小企業基本実態調査 (1977~1978年)

当時の係長級職員180人が区内の全製造業を訪問する実態調査を実施



墨田区中小企業振興基本条例 (1979年)

全国初の中小企業振興基本条例
産業振興を区の最重要施策に



墨田区産業振興会議 (1980年)

座長 関 満博氏(一橋大学名誉教授)
具体的な施策を提案する諮問機関

ハード:新ものづくり創出拠点など



ソフト:フロンティアすみだ塾など

